

令和6年度事業報告

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

1 概 況

令和7年度税制改正大綱では、「1.持続的な経済成長を目指し、活力ある社会を構築するための環境整備を図る」「2.若者や現役世代を含め誰もが豊かさを実感できる、質の高い国民生活を実現する」「3.わが国を取り巻く厳しい国際環境や国際的要素を踏まえ、安全保障及び経済安全保障の強化や地球温暖化対策等に取り組む」ことが主要項目として示されました。

また、昨年度は「定額減税の実施」「年収103万円の壁見直し協議」等、税制をめぐる環境においても変動の1年となりました。

法人会は、「税のオピニオンリーダー」として、取り組まなければならない新たな制度の理解を深めるため、研修会等を実施してまいりました。

さらに、税に対する第一人者として、租税の理解に努め、中小企業の立場から望ましい税務知識の普及・啓蒙、税制・財政のあり方について調査研究を行い、税に関する研修会等を通じ、納税意識の高揚を図ってまいりました。

また、社会貢献活動を通じて、地域の振興に寄与し、未来を担う人材の育成を支援し、税制提言等の活動を通じて、地域の人々が安心して暮らせる社会づくりに貢献してまいりました。

近年、コロナ禍の影響により、事業や活動を十分に実施できない状況が続きましたが、令和6年度は、ほぼ全事業を実施することができました。

2 主な実施事業の概要について

(1) 公益目的に資するための事業

イ 税を巡る諸環境の整備改善等を目的(税の啓発活動)とする事業

(イ) 研修相談事業

税務研修会

税知識の習得、我が国の税制の現状、税務・会計処理等について、全法連等の作成教材を活用して、国税当局担当官他を講師に研修会の開催や資料配付を実施しました。

- ・会社の決算・申告の実務、定額減税、自主点検チェックシート説明会
- ・新設法人説明会
- ・年調減税事務に関する研修会
- ・経理デジタル化研修会

開催回数 8回 参加者数 598名

(ロ) 租税教育事業

A 租税教室

日本の未来を担う小学生に税の仕組みや大切さを教える租税教育活動は、極めて重要な活動と言えます。

鳥取県西部地区15小学校の6年生を対象に、青年部会、東部支部、境港支部の役員及び会員が講師を担当し、実施しました。

B 税に関する絵はがきコンクールの募集、展示及び表彰

鳥取県西部地区の各小学校6年生を対象に 4月25日から 7月31日までの間、作品募集のため女性部会の役員、会員の協力により呼びかけたところ、38小学校から1,305点の応募がありました。

これらの作品の展示を米子しんまち天満屋で 11月2日から 11月14日までの約2週間行い、入賞した15名には各学校で個別表彰いたしました。

さらに、多数応募をされました31の小学校には感謝状及び記念品を贈呈し、優秀作品等を掲載したカレンダーを作成配布しました。

(ハ) 税制改正提言事業

全法連全国大会「鹿児島大会」が10月に鹿児島市で開催されました。そこで採択・確認された「令和7年度税制に関する提言」を地元国会議員をはじめ、米子市、境港市の市長及び市議会議長にその実現への取組みを提言しました。なお、全国大会の大会宣言は当法人会会報第95号に掲載しました。

(ニ) 広報事業

新しい税情報の提供、地域の情報等を取り入れ、皆様に読みやすく、企業の発展に寄与しようと年2回の会報誌を発行しています。

また、会員のほか一般市民にも各種事業の情報提供や国税庁ホームページ等とのリンク設定を行って、より広範囲な情報提供をすることにより正しい税知識の普及、適正かつ公平な申告納税制度の維持発展に寄与してきました。

さらに、公益社団法人としての社会貢献活動の紹介を通じて、「企業の社会的責任への取組み」を訴えより多くの企業に「法人会事業への理解と参加」を求めて活動してきました。

- ・会報「みずどり」 8月 94号 2月 95号 年2回
- ・全法連「ほうじん」春夏秋冬新年号 年4回
- ・県連「県連通信」1月 年1回
- ・税金クイズ 会員企業先での配布、QRコードからの応募（クイズ応募数 230枚）
- ・ホームページ、メディアの利用による情報の発信

ロ 地域社会の健全な発展及び社会貢献を目的（地域貢献活動）とする事業

(イ) 経営支援事業

本年度も、企業見学については実施できませんでしたが、3回の講演会が実施できました。

- ・中野雅至氏 「混迷する日本経済と中小企業の課題」
- ・比嘉バーバラ氏 「世界を旅して気づいたこと」
- ・菊地幸夫氏 「弁護士が教える身近な法律問題」

開催回数 合計3回 参加者数275名

(ロ) 社会貢献事業

企業の社会的責任への取組みや地域社会との共生を目指し、地域社会の健全な発展に寄与することを目的に会員の皆様とともに取り組みました。

A 古タオルの回収及び施設への寄贈(タオル類段ボール58箱寄贈)

会員企業をはじめ皆様方のご協力のもとに、古タオル類の回収を行い施設に寄贈しました。

介護老人保健施設「サンライズ名和」、障がい者支援施設「もみの木園」

B 米子税務署管内自治体が推進する環境整備事業への協賛事業の実施

地域の環境整備を目的とし、米子城跡、日吉津村海浜運動公園にリサイクルベンチ各4基を寄贈しました。

C 被災地等復興支援の募金活動

チャリティーゴルフコンペで集めた募金を「鳥取県令和5年台風第7号災害復旧・復興支援」として寄付をしました。賞品については東日本大震災の復興支援を目的として被災地から調達しました。

(2) 会員の福利厚生や会員支援に関する事業

イ 福利厚生事業

会員の福利厚生に資することと、法人会財政の基盤確立に重要な事業である各種福利厚生制度の普及、推進を提携保険会社(大同生命保険、AIG損害保険及びアフラック生命保険)とともに取り組みました。

ロ 会員支援事業

多種多様な企業の団体という法人会の特色を生かし、会員相互の交流の輪を広げることが重要です。

本年度は、交流会等の活動は制限されましたが、会員支援のための情報提供に努めました。

ハ 会員増強及び組織充実の活動

会員数の拡充は、組織強化のための重要な課題であり、新規会員獲得と退会防止に努め、法人会活動の活性化や事業の拡充に繋げていく必要があります。コロナ禍以来、脱会要請は続いています。会員様、金融機関様、提携保険会社様等に会員増強のご協力をいただき、6年度は46社に入会いただきました。

令和7年3月31日現在 1,849社(前年1,862社) 前年比 △13社(加入46社 退会59社)

(3) 支部及び部会活動

イ 支部活動

法人会活性化には地元に着目した法人会という支部活動が重要であり、各支部地域の活性化を目指しています。また、租税教室での講師参加や税務研修等を行いました。

支部別会員状況

令和7年3月31日現在

支 部	期 首 会 員 数	令 和 6 年 度		現 在 会 員 数
		加 入	退 会	
米 子	1,362	38	44	1,356
境 港	304	5	12	297
東 部	126	2	3	125
日 野	70	1	0	71
合 計	1,862	46	59	1,849

ロ 青年部会・女性部会

青年部会は会員企業の経営者及び法人会役員の後継者育成の場であるとともに、法人会活動推進の担い手として大きな役割を有しています。

女性部会は会員企業の女性経営者や幹部の自己啓発の場であるとともに、多様化する法人会活動の充実と活性化に努めてまいりました。

これらの部会は、小学生を対象とした租税教室、税に関する絵はがきコンクールなど、法人会活動の主要テーマである税の啓発・普及活動や社会貢献活動の中心的活動主体として、その役割を果たしてまいりました。

(4) 適時・的確な組織運営及び事務局運営

理事会を中心に適時、的確な委員会等の開催による組織運営とともに、事務運営において法令の遵守、相互監査による適正な処理に努めてまいりました。